

食文化シリーズ「藤岡家住宅見学と五條の伝統食の試食」を開催

今回は、奈良県南部五條市にある藤岡家住宅の見学と、ひな祭りの時期に五條地区で食される伝統食の試食会を行いました。

3月3日（土）36名の方が五條市宇智郷にある藤岡家住宅に集まりました。まず藤岡家住宅を管理運営するNPO法人うちの館の学芸員川村優理さんから藤岡家住宅の説明をいただきました。



学芸員川村様より説明を聞く

まず藤岡家住宅を管理運営するNPO法人うちの館の学芸員川村優理さんから藤岡家住宅の説明をいただきました。藤岡家は、江戸時代からの庄屋ですが、五條、吉野と大阪を結ぶ交通の要地にあり、両替商や薬種商など商家でもありました。江戸時代の庄屋、商家の建築物として登録有形文化財の指定を受けています。また、明治時代、最後の当主となりました藤岡長和氏は、内務官僚として熊本県知事等の務めと合わせ、「玉骨」雅号で俳人として活躍された方でした。藤岡玉骨の与謝野鉄幹、晶子夫妻や高浜虚子との親交の様子や、庄屋、商家の生活の様子などを見学いたしました。



ごっつおの達人のお料理

お昼は、NPO法人うちの館理事長の田中修司さん（田中さんは柿の葉すし本舗たなかの相談役）から、ご自身が考えられた藤岡家オリジナル料理「梅が枝点心」の説明をお聞きした後、奈良県マーケティング課の角山さんから、県認定の「ごっつおの達人」南口さんらを紹介いただきました。五條の伝統食の案内をいただき、ごっつおの達人に作っていただいた、地元の食材を利用したお料理「ちらしすし」、「七色おあえ」、「刺身コンニャク」をいただきました。五條の伝統食、梅が枝点心、そして藤岡家オリジナルのつるし柿を最後にいただきそれらのおいしさに満足いたしました。

食事会終了後、高取町へ移動し、土佐街道の「町家のひな巡り」を見学しました。当日は、丁度ひな祭りの日に当たり江戸時代のお雛さまから、創作雛人形、そしておよそ90軒の民家がそれぞれの家に保存されているひな飾りを軒先に飾られているのを見学いたしました。

天候の安定しない日々が続いた中で、当日は晴天に恵まれ、楽しい一日を過ごすことができました。